

外来患者様へのお知らせ

2月より会計等のシステム、機器の変更を行いました。新しいシステムでは来院確認のため、予約の外来患者様についても再来受付機に診察券を入れて受付していただくことに変更されました。お手順をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



外来診察（予約外）の受付時間は午前8時から午前11時までとなっています。

3月の土曜日の開院日のご案内

6日、20日を平常診察（皮膚科、耳鼻いんこう科、産婦人科は休診）します。
なお、6日の泌尿器科は休診となります。

看護師（正職員・パート）募集

【募集人員】若干名

院内には保育園を設置しています。小さいお子さんをお持ちの潜在看護師の方もお気軽にお問い合わせてください。

問 市立病院庶務課

耳鼻いんこう科外来からのお知らせ

- 花粉症の季節がやってきました。
- アレルギー性鼻炎等の花粉症の症状については当院では耳鼻いんこう科で診察を行っていますのでお気軽にお越しください。
- 月・水・金曜日のみの診察となります。



月	火	水	木	金	土
木村	-	岡本	-	金田	-

● 第2金曜のみ午前10時からの診察となりますので、ご注意ください。

● 耳鼻いんこう科ではアレルギー性鼻炎のほか、急性・慢性中耳炎、めまい、甲状腺腫瘍等の治療も行っています。

糖尿病教室のご案内

● 糖尿病でお悩みの方、ご家族の方、どなたでも無料で参加できます。

● 内容 第2木曜「糖尿病及び運動療法について」

● 第3木曜「食事療法について」

● 第4木曜「合併症について」「日常の注意点」

● 日時 3月は11日・18日・25日の午後2時～3時に行います。

● 場所 東館2階232号室

全身麻酔ってどんなもの？

皆さんは全身麻酔とはどんなものだと思いますか？ 手術の時に患者さんを眠らせておくもの？ 確かにそれも大切な要素ですが、それだけではありません。

ヒトの体は、麻酔なしで手術されると痛くて苦痛を感じるだけでなく、痛みのために血圧が上がり、脈拍や呼吸が速くなり、汗が出るといった反応が起こります。また、急に異常に脈が遅くなるという反射が起こることもあります。



このような反応は、ヒトがストレスを受けた時に、体を守るために起こる反応なのですが、手術のような非常に大きなストレスを受けると、反応が強く起こり、逆に体に悪影響を及ぼしてしまうのです。

では、麻酔で眠ってしまって痛みがわからなくなれば、このような過剰な反応が起こらなくなるのでしょうか？ いいえ、そうではありません。眠るだけでは、体は痛みを感じてしまい、上記のような様々な反応が起こります。ですから、眠らせると同時に、体が痛みを感じなくなるように鎮痛を行ない、ストレスによる過剰な

反応を抑えて、日頃と変わらない状態を保たなければならぬのです。

さらに、手術を受ける患者さんのなかには、高血圧や不整脈、糖尿病、喘息などいろいろな基礎疾患を持っている方が多くいます。日頃飲んでいる薬と、麻酔に使う薬との間に相互作用が出ることもあります。また、絶飲食や手術による出血に対しても、輸液や輸血によって、体の中の水分や血液のバランスを適正に保つことが必要になります。このように、起こる可能性のあるあらゆる事柄を事前に予測し、予防・対処するのも麻酔の仕事です。

患者さんが安全に苦痛なく手術を受けられるよう、また、術者が安心して手術に専念できるよう、単に眠らせて痛みをわからなくするだけでなく、鎮静（眠らせる）鎮痛（痛みを感じなくする）有害な反射を抑えるの3つを基本に、生命の営みを適正に維持することこそが全身麻酔なのです。



麻酔科部長 垣本めいこ